

令和5年度 自己評価結果

ひらやす保育園

1. 保育理念

子どもの幸せのため、子どもの権利条約（①生きる権利 ②育つ権利 ③守られる権利 ④参加する権利）を遵守し、人格主義の基本理念（誠実・忍耐・勤勉）と良心を育てる。

2. 保育方針

本園の教育・保育は園児の言語（英語を含む）、情緒、行動、社会性および身体の調和的発達を助長し、望ましい人間形成を目指すものである。

3. 保育目標

- ①情緒が豊かで明るい子ども
- ②よく考え、進んで行動する子ども
- ③仲良く遊び、協力し合う子ども
- ④身体が丈夫で逞しい子ども

4. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画

- ・ 保育所の特性を活かした保育の質の向上と保護者支援の充実
- ・ 仕事の効率化を図る

5. 評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	結 果	備 考
(1) 建学の精神や教育、保育理念に基づいた保育園の運営状況	B	
(2) 保育園の状況を踏まえた保育目標等の設定状況	A	
(3) 保育園の保育課程、保育方針について保育士間の共通理解	B	
(4) 保育園行事の管理・実施体制の状況	A	
(5) 年間の指導計画や週案などの作成の状況	B	
(6) 遊具・用具の活用	A	
(7) 保育士間の協力的な指導の状況	A	
(8) 乳幼児に適した環境に整備されているかなど、クラス経営の状況	A	
(9) 保育所保育指針の内容に沿った乳幼児の発達に即した指導の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境を通して行う保育の実施の状況 ・ 乳幼児との信頼関係の構築の状況 ・ 乳幼児の主体的な活動の尊重 ・ 遊びを通しての総合的な保育の状況 ・ 一人一人の発達の特性に応じた保育の状況 	A	
(10) 日常の健康観察や、疾病予防のための取組、健康診断実施状況	A	

(11) 事故等の緊急事態発生時の対応の状況	A	
(12) 法定の安全計画や防災計画等の作成・実施の状況	A	
(13) 危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	A	
(14) 安全点検や、保育士の安全対応能力の向上を図るための取組の状況	A	
(15) 個別の指導計画の作成の状況	A	
(16) 家庭との連携状況	A	
(17) 管理職の保育目標等の達成に向けたリーダーシップの状況、また多くの保育士からの信頼の状況	A	
(18) 保育園の明確な運営・責任体制の整備の状況	A	
(19) 各種文書や個人情報等の保育園が保有する情報の管理の状況、また、保育士への情報の取り扱い方針の周知の状況	A	
(20) 労働基準法等の各種法令の遵守状況	A	
(21) 保育研究の継続的实施など、指導改善の取組の状況	A	
(22) 園内における研修の実施体制の状況	A	
(23) 園内研修の課題の設定の状況	A	
(24) 園内研修・園外研修の実施・参加状況	A	
(25) 指導が不適切である保育士の状況の把握と対応の状況	A	
(26) 保育目標の設定と自己評価の実施状況 ・乳幼児や保育園の実態、保護者の意見要望等を踏まえた保育園としての目標等の設定の状況 ・目標等を踏まえた自己評価の項目の設定状況 ・自己評価が年に1回以上定期的に行われているかなどの実施状況 ・自己評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況 ・全職員が評価に関与しているかなどの体制の状況 ・自己評価の結果の設置者への報告と状況	A	
(27) 保育園に対する保護者の意見・要望等の状況 ・保護者の満足度の把握の状況 ・保育相談体制の整備状況、保護者の意見や要望の把握・対応状況	A	
(28) 保育園に関する様々な情報の提供状況	A	

(29) 保育園公開の実施の状況	A	
(30) 乳幼児の個人情報の保護の状況	A	
(31) 自己評価結果の公表状況	A	
(32) 園便りやクラス便りの発行など、主として保護者を対象とした情報の提供状況	A	
(33) 情報提供手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫の状況	A	
(34) 保護者の実情や要望による保育園の子育て支援活動の実施状況	A	
(35) 園や保育士による受け入れ体制の状況	A	
(36) 施設設備 ・施設設備の活用状況 ・施設・設備の安全・維持管理のための整備の状況	A	
(37) 遊具・用具・図書等 ・遊具・用具・図書等の整備状況 ・保育環境の充実のための取組状況	A	

6. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画の考察

結 果	理 由
A	<p>【職員の資質向上】 (外部研修や園内研修への参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に外部研修や園内研修に参加することで、保育の専門性を高める事が出来たと思う。外部研修では、コドモンのオンライン研修やキャリアアップ研修を通して学びを深め、その学びを園内研修で全職員と共有し、一人一人の資質の向上が図れた。 <p>(ヒヤリハット・事故報告書の振り返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット・事故報告書を活用して、その都度全職員で把握し、全体ミーティングで解決策を考え、安全を維持しながら質の高い保育に取り組む事が出来た。 <p>【食育への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培などの食育活動を通し、日々の水やりや観察、収穫をすることで食への関心が更に高まった。収穫したゴーヤーを使い、お茶を作り試飲する事も出来たので、良い経験となったように感じた。また、食に関する手遊びや絵本に親しむ事で、食べる事の楽しみを感じる事が出来た。 個々の発達段階に応じて、食具の持ち方や咀嚼を促す言葉かけを行い、食事のマナーを伝えながら、子どもの咀嚼力、嚥下力を促す事が出来た。

7. 総合的な評価結果

- ・玩具インストラクター資格保有者である職員が、手作り玩具の充実を図ることで、子ども達の遊びの視野が広がった。
- ・その日の登園児数や活動内容を見て、必要な職員数で保育を行い、交代で保育から抜けて事務作業に入ることで、ノンコンタクトタイムの時間を作ることが出来た。また、休憩も交代でしっかり取ることで、職員の気持ちにゆとりが持て、子ども達への関わりや保育もよりよく行えた。
- ・栽培を通し、作物の成長を観察しながら育てる喜びを感じる事が出来た。収穫の体験などを通して、食への関心も高まったように感じたので、次年度も色々な野菜を栽培し食育活動に活かしていきたい。

8. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
年間計画に基づいた保育	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育内容を大切にし、行事にも繋げていけるよう、年間を通して計画を立てて保育を行う。 ・子どもの姿を見て年間計画を基に月案や日案を立てて、子どもの主体性を大切にしながら、一斉保育の良さを活かしていく。
保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会や絵本の読み聞かせ、手遊び時には、マスクを外し、口元を見せて表情の変化を感じたり、言葉の獲得に繋がるように、更に意識して保育に努めていきたい。 ・園内研修や外部研修を通して学んだことを、皆で共有しながら保育に活かしていく。

◎「5. 6」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である